

国土数值情報（流路）

製品仕様書

第 1.0 版

平成 26 年 3 月

国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2014 年 3 月	初版

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	3
1.7 参考資料.....	3
2 適用範囲.....	4
2.1 適用範囲識別.....	4
2.2 階層レベル.....	4
3 データ製品識別.....	4
3.1 製品仕様識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	5
4.1.2 国土骨格パッケージ.....	6
4.1.3 河川パッケージ.....	7
4.1.4 共通パッケージ.....	10
4.2 空間スキーマプロファイル.....	10
4.3 時間スキーマプロファイル.....	10
5 参照系.....	10
5.1 座標参照系.....	10
5.2 時間参照系.....	10
6 データ品質.....	11
7 データ製品配布.....	15
7.1 配布書式情報.....	15
7.2 配布媒体情報.....	15
8 メタデータ.....	16

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（流路）製品仕様書 第1.0版
- 日付：2014年3月14日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：陸水
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、河川の流路について、河川法による指定区分ごとに1級直轄区間、1級指定区間、2級河川区間、指定外区間ごとに、その形状（線）、区間種別（1級直轄区間、1級指定区間、2級河川区間等）、河床標高値等を整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
1977年度

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」

- 国土交通省国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス

URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/>

- 一級水系

国土保全上または国民経済上特に重要な水系で、国土交通大臣が直接管理する。全国で一級水系に指定された水系は、109 水系 (平成 17 年 4 月 30 日現在)。

- 二級水系

一級水系以外の水系のうち、公共の利害に重要な関係がある水系で都道府県知事が管理する。全国で二級水系に指定された水系は、2,723 水系 (平成 17 年 4 月 30 日現在)。

- 一級河川

一級水系に係わる河川で、国土交通大臣が指定した河川。以下の 2 つに区分される。

国土交通大臣指定・大臣管理：1 級直轄区間 (国土交通大臣管理区間)

国土交通大臣指定・都道府県管理：1 級指定区間 (指定区間)

- 二級河川

一級水系以外の河川で、都道府県知事が区間を明らかにして指定したもので、都道府県知事が管理する。

- 準用河川

一級河川及び二級河川以外の河川で、市町村長が指定した河川。河川法の二級河川に関する規定を準用し、市町村長が管理する。

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（流路）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称
国土数値情報（流路）データ
- 日付
2014 年 3 月 14 日
- 問合せ先
国土情報提供サイト運営事務局
<http://nlftp.mlit.go.jp/inquiry.html>
- 地理記述
全国

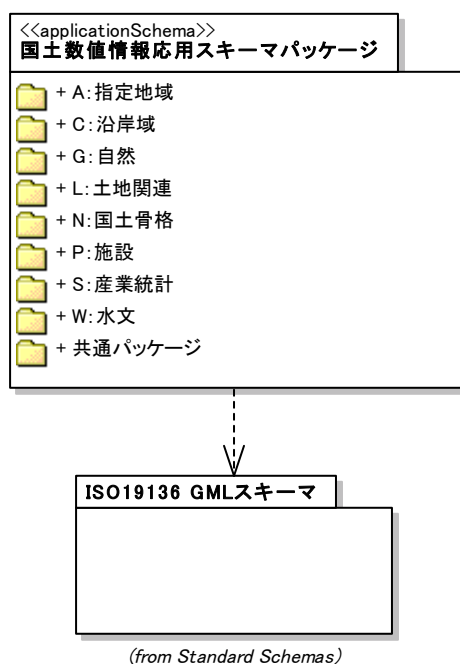
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

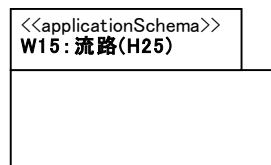
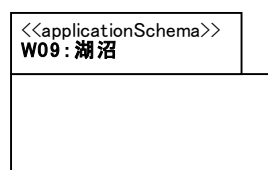
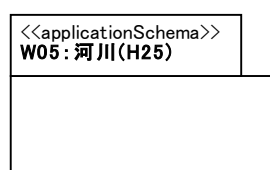
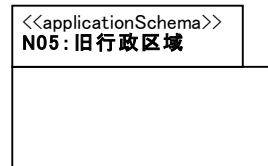
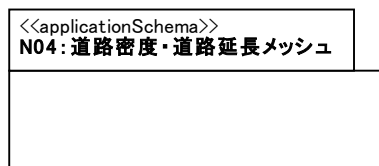
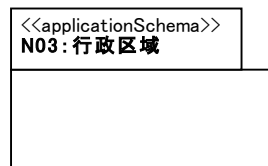
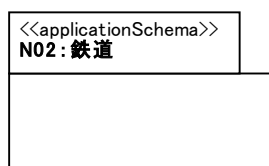
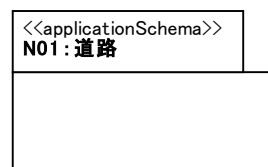
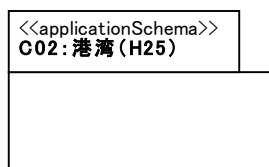
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 国土骨格パッケージ

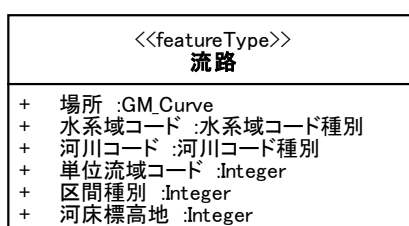
このパッケージは、国土骨格に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 流路パッケージ

このパッケージは、流路に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

流路

流路とは「同一属性を持つ河川の端点（始点）から次の端点（終点）の間」を示す線情報。

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

場所：GM_Curve

地図情報レベル 25000 程度の情報を持つ河川中心線。

水系域コード：水系域コード種別

「流路」地物が持つ河川コードの上位 5 桁に示される番号。

■ 定義域

流路と河川端点からなるデータ集合。

上 2 桁	対応する内容
81	北海道開発局
82	東北地方建設局
83	北陸地方建設局
84	関東地方建設局
85	中部地方建設局
86	近畿地方建設局
87	中国地方建設局
88	四国地方建設局
89	九州地方建設局
90	沖縄開発局

下 3 桁	対応する内容
000	対象外地域
001～199	一級河川を含む単一水系域
201～499	主要二級河川を含む単一水系域

501～949	複合水系域
951～999	流出口のない水系域

河川コード：河川コード種別

流路地物が示す河川の河川コード。河川を特定するために付与された**3桁**の番号。

■ 定義域

該当流路の河川コード表に示される河川コード。

単位流域コード：Integer

単位流域コード。

区間種別：Integer

区間の種別。

■ 定義域

コード	対応する内容
1	1級直轄区間
2	1級指定区間
3	2級河川区間
4	指定外区間
5	1級直轄区間でかつ湖沼区間を兼ねる場合
6	1級指定区間でかつ湖沼区間を兼ねる場合
7	2級河川区間でかつ湖沼区間を兼ねる場合
8	指定外区間でかつ湖沼区間を兼ねる場合

河床標高値：Integer

標高値 単位[m]。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 / (B, L), TD / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	流路
データ品質評価尺度	データ集合中の過剰データがないか。
データ品質評価手法	<p>全数検査</p> <p>①参照データは、監督員が指定する資料（河川基盤地図 2500、河川基盤地図 25000、数値地図 25000 等）とする。</p> <p>②「流路と参照データの一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータがないか」表示又は出力して、確認する。</p> <p>③データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。</p> <p>④計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p> <p>誤率 = 0% であれば “合格”</p> <p>誤率 > 0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	過剰なデータの割合 : 0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	流路
データ品質評価尺度	データ集合からのデータの欠落がないか。
データ品質評価手法	<p>全数検査</p> <p>①参照データは、監督員が指定する資料（河川基盤地図 2500、河川基盤地図 25000、数値地図 25000 等）とする。</p> <p>②地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>③「流路と参照データの一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータがないか」誤率を計算する。</p> <p>④計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率 (%) = (漏れデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p> <p>誤率 = 0% であれば “合格”</p> <p>誤率 > 0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	漏れのデータの割合 : 0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合のファイル形式が XML の仕様に適合しているか。
データ品質評価手法	全数検査 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構文）に適合しているか、検査プログラム（XML パーサなど）によって評価する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	応用スキーマで決められた地物を逸脱した地物がないか、また、地物同士の関係が応用スキーマと矛盾しないか。
データ品質評価手法	全数検査 応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラム（バリデータなど）によって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が決められた定義域の中にあるか。空間属性及び時間属性は、それぞれ規定された範囲にあるか。
データ品質評価手法	全数検査 属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	図形同士の関係（“離れている”、“接している”、“重なっている”、“一致している”、“含んでいる”）が正しいか。
データ品質評価手法	全数検査

	GIS 検査プログラムを用いて、流路の連続性が保たれているか検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	空間属性を構成する地物の図上誤差が許容値を超えていないか。
データ品質評価手法	<p>抜取検査</p> <p>①参照データは、監督員が指定する資料（河川基盤地図 2500、河川基盤地図 25000、数値地図 25000 等）とする。</p> <p>②地物数の 2%の検査単位を抽出する。抜取検査の検査単位の分割方法は、監督員と協議する。</p> <p>③抽出した位置の図上の座標と参照データの座標との誤差を測定する。</p> <p>④「流路の位置の座標と、参照データの座標との誤差が大きくないか」、検査対象の座標全ての誤差の標準偏差を計算する。</p> <p>⑤計算した標準偏差と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> $\text{標準偏差} = \sqrt{((1/n-1)\sum((x_i-X_i)^2+(y_i-Y_i)^2))}$ <p>xi：データ集合内の検査対象のデータの位置の X 座標 yi：データ集合内の検査対象のデータの位置の Y 座標 Xi：参照データの位置の X 座標 Yi：参照データの位置の Y 座標</p> <p>“適合品質水準≥標準偏差”であれば“合格” “適合品質水準<標準偏差”であれば“不合格”</p> <p>※適合品質水準=水平位置の標準偏差：17.5m 以内 [単位：メートル]</p>
適合品質水準	誤差：17.5m 以内

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	流路
データ品質評価尺度	分類の正しさ 地物の分類（種別）に誤りがないか。
データ品質評価手法	<p>全数検査</p> <p>①参照データは、監督員が指定する資料（管内図、数値地図 地図画像等）とする。</p>

	<p>②区間種別が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>③「流路と参照データとの比較を行い、誤った区間種別を持つ流路のデータがないか」、誤率を計算する。</p> <p>④計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率 (%) = (地物型が正しく特定されていないデータ数 / 参照データに含まれるデータ総数) × 100</p> <p>誤率 = 0% であれば “合格”</p> <p>誤率 > 0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	分類の正しさのエラーの割合 : 0%

品質要素	主題正確度・非定量的属性の正しさ
データ品質適用範囲	流路
データ品質評価尺度	主題属性のうち、文字（列）や符号（コード）のように大小関係を持たない属性（非定量的属性）に誤りがいないか。
データ品質評価手法	<p>全数検査</p> <p>①参照データは、監督員が指定する資料（管内図、数値地図 地図画像等）とする。</p> <p>②河川コード、河川名、原典資料種別、流下方向判定が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <p>③「流路と参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンスがないか」、誤率を計算する。</p> <p>④計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p> <p>誤率 = 0% であれば “合格”</p> <p>誤率 > 0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	非定量的属性の正しさのエラーの割合 : 0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (流路) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（流路）製品仕様書 第 1.0 版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
国土骨格					
	W15 流路				
	流路			Stream25	stream H25
		場所	GM_Curve	location	location
		水系域コード	水系域コード種別	waterSystemCode	water system code
		河川コード	河川コード種別	riverCode	river code
		単位流域コード	integer	unitValleyCode	unit Valley Code
		区間種別	区間種別コード	sectionType	section type
		河床標高地	integer	riverName	river name

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="Stream25" type="ksj:Stream25Type"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="Stream25Type">
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence>
          <xsd:element name="location" type="gml:CurvePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>場所</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="waterSystemCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>水系域コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>WaterSystemTypeCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="riverCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河川コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>RiverTypeCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="unitValleyCode" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>単位流域コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="sectionType" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>区間種別</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="riverBedElevation" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河床標高地</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

```

```
<xsd:complexType name="Stream25PropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:Stream25" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="Stream25MemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:Stream25" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>
```